

<p style="text-align: center;">社会経営工学プログラムの 学習・教育到達目標</p>	<p style="text-align: center;">土木工学プログラムの 学習・教育到達目標</p>
<p>(A) 既存の工学に加えて、人文、社会科学などの幅広い分野での基礎知識を備え、それらを用いて世の中の問題を多様な角度からとらえることができる。</p>	<p>(A) 土木技術者として人類の福祉と自然環境との調和に貢献できるように、自然科学、人文社会科学などを学び、自然、人間、社会、環境に関わる多面的な知識と柔軟な思考力を身に付ける。【多面的な知識と柔軟な思考力】</p>
<p>(B) 外国語を用いて日常会話や仕事の内容についての簡単な説明ができる。</p>	<p>(B) 口頭または文書により、また図表や映像などを用いて、意図することを相手に正しく伝えることができ、さらに討議できるコミュニケーション能力を身に付ける。情報の内容は根拠に基づき、正しく、詳細かつ適切に取りまとめられ、字句、句読点、文法および用法が適切であることが必要である。また、必要に応じて、情報が相手に適切に伝達されているか確認する習慣を身に付ける。【コミュニケーション能力】</p>
<p>(C) 集団において規律に基づいた行動を行い、自らの意思を表現でき、与えられた役割を果たすことができる。</p>	<p>(C) 土木技術者が自然および社会に及ぼす影響・効果を正しく理解し、その社会的役割と責任を自覚する。土木技術者倫理規定を理解し、実例について学習し、実務において倫理的な評価・判断ができる能力を身に付ける。【技術者としてのキャリアと倫理】</p>
<p>(D) 過去の具体的な事例などを通して技術の影響力について理解できる。</p>	<p>(D) 土木工学に関連する数学、物理・地学、情報技術などの基礎知識を習得し、土木工学の専門知識を習得するための基礎能力を身に付ける。演算を筆記により正確に行うことができ、必要に応じて検証する。【数学、物理・地学、情報技術などの基礎知識】</p>
<p>(E) コンピュータや書物による情報の収集、整理ができ、集計作業などにより、内容をまとめられる。</p>	<p>(E) 土木工学の専門基礎分野としての、構造工学、地盤工学、水工水理学、材料学、測量学の基礎知識を、講義、課題を通して習得し、土木施設および土木構造物の調査、計画、設計、建設、維持管理などを実行するために必要な基礎的能力を身に付ける。【土木工学の基礎知識】</p>
<p>(F) 確率・統計、微分方程式、力学といった、数学、物理の基礎知識を身につけている。</p>	<p>(F) 土木工学に関わる現象について、実験を計画、遂行・解析・考察する能力、および時間内に実験を進め、結果をとりまとめレポートを作成し、報告できる能力を身に付ける。また、共同作業における個々の役割を認識し、協調して行動できる能力を身に付ける。【実験の計画・遂行・解析と考察】</p>
<p>(G) 社会的な課題を調査、分析する方法を身につけている。</p>	<p>(G) 土木工学に関わる上記の基礎知識を応用かつ駆使できるよう演習を通して多くの課題に取り組み解決し、自己学習の習慣を身に付け、かつ成果を文書や図表により取りまとめ、報告、発表、討議できる能力を身に付ける。【演習による基礎知識の理解と応用】</p>
<p>(H) システム的思考に基づいてシステムの企画・立案、設計、評価、改善を検討することができる。</p>	<p>(H) 土木工学に関わる基礎知識を基に、実務の基礎知識を習得し、土木分野における課題を探索し、組み立て、解決する基礎能力を身に付ける。【実務の基礎知識の習得】</p>
<p>(I) 得られた成果を論理的な文章にまとめ、その内容を聞き手にコンパクトに分かりやすく発表することができる能力、および他の人の意見を聞き、内容の理解と疑問点を整理する能力を身につけている。</p>	<p>(I) 社会の変化を迅速に察知し、身に付けた知識をもとに自ら課題を発見し、その課題を解決するための研究・プロジェクトを計画・遂行し、その結果をまとめ、発表できる能力およびこれらをチームで実践できる能力を身に付ける。【課題の発見と解決能力】</p>